

「第2回山形県道路メンテナンス会議」結果概要について

山形県道路メンテナンス会議

- ・日時：平成26年10月10日 13:30~15:30
- ・場所：山形県自治会館401会議室 参加者約80人

(1) 定期点検要領について

- ・定期点検の位置付けや「国が策定した地方公共団体向け定期点検要領」を説明
- ・「国が策定した地方公共団体向け定期点検要領」に基づく点検業務の積算の考え方(暫定版)を示し、市町村等における点検費用の算出方法を説明

(2) これまでの取組と今後の予定

- ・会議設立から、これまでのパネル展等の広報の取組状況を紹介
- ・8月6日、7日に市町村職員を対象とした橋梁点検現地研修会を実施
- ・今後、道路インフラの老朽化の現状や対策の重要性の理解を促進するため、一般の方やマスコミ向けの現地見学会を検討中

(3) 一括発注について

- ・技術面・体制面の支援を希望する市町村もあることから、一括発注による支援を実施中
- ・来年度以降も意向調査を実施して、一括発注による支援を予定

(4) 道路メンテナンス技術相談室

- ・東北地方整備局で、道路施設の点検や保全関係の技術的課題に係る市町村等からの疑問や相談に対応する窓口として設置している「道路メンテナンス技術相談室」を紹介

(5) 橋梁定期点検の優先順位の考え方

- ・緊急輸送道路を跨ぐこ道橋やこ線橋、緊急輸送道路を構成する橋梁及び既往損傷がある、著しい損傷がある等、緊急的に点検が必要な橋梁を最優先で点検に着手する方針

(6) 5年間の点検計画の策定

- ・今後メンテナンスサイクルを回すため予算や技術者の平準化が必要で、優先順位を勘案しながら、5年間で計画的に点検が実施されるよう各道路管理者が具体的な点検計画を策定

(7) 鉄道を跨ぐ橋梁の点検

- ・調整に時間と労力を要することから、メンテナンス会議が主体となって鉄道事業者と一括して調整を実施
- ・H27点検予定については、東日本旅客鉄道(株)とは既に調整を実施中

(8) 研修について

- ・市町村等の職員に対し、東北地方整備局で実施する橋梁点検等の研修の案内